

エムエスピーの履歴書

水谷政司 ⑫

コムデックスの続きとなります。

コムデックスは、Computer Dealer's Exhibition の略ですから展示会場には実に面白いものが沢山あります。

歴史アーカイブス

エムエスピーのスタートを彩った取扱商品を今回は説明します。

アップル社が世の中に初めてマウスという概念を提案しました。キーボード利用のみでしかオフコンなどのコンピュータは動かせませんでした。画面に直接絵を出したり操作を指定したりという現在の画面中心の操作に

は欠かせないマウスが初めて世の中に出てきたころの話です。昔のマウスはボール式でボールの回転が距離と方向をカーソルに指示を与え、画面の

世界には面白いものがいっぱい

世界中にパソコンの有効利用を考えている人がいる

中を移動させて使い方の指示をする方法でした。

マウスを始めて提供したアップル社の最初のボールマウスは実にシンプルでしたが画期的でした。エムエスピーの歴史を

彩った商品にこのマウスがありました。エムエスピーのマウスはペン型で、

ペンの先にボールが付いての指示でした。ペン型ですから手に持ったままキーボード操作もできるという画期的なものであり名称はフラッシュユニットというものでした。ポデーカラーが色付きのものはクレヨンという名称として販売していました。日本では、クレヨン型

の貯金箱に入れて販売したりもしました。このペインタイプマウスが当時のあるメーカーの専用ワープロの機械にバンドリングされるなどの栄誉にも恵まれたものでした。

そのマウスの移動を確実なものとするためにマウスパットがありました。

写真にはトルネード投法でおなじみの野茂英雄さんが大リーグに移籍し活躍していたころのマウスパッドです。大リーグに限らずバスケットボールやアメリカンフットボール選手をあしらったスポーツ選手のマウスパッドは実によく売れました。



このスポーツキャラクターマウスパッド以外には、デイズニーのミッキーやミニーマウスのマウスパッドなどユニークな商品を独占契約して販売していたため、『ドル箱』とはこの

ようなことを言うのだと思ったものでした。

『PCソフトレンズ』はスマホの画面割れの防止用であったり、映り込み防止であったり、今では一般的に使用されている商品も独占的に取り扱っていました。当時の画面はオフコンがモノクロ、パソコンがカラーで4インチサイズが一般的でしたがCAD製品の登場により画面サイズが広がり21インチサイズ位迄大きな画面用のソフトレンズも輸入していました。そのほかにはテンプレート画像を収納した『CR-ROM』製品などもコムデックスにて買付し、その製品を独占的に国内販売しており、とにかく忙しかったです。

(エムエスピー相談役)